

[要点]

- (1) 1467年、足利義政が将軍のとき、そのあとつぎ争いと守護大名の細川氏と山名氏の争いなどが原因となって、応仁の乱がおこった。
- (2) 11年間続いた戦乱はやがて全国に波及し、以後約100年間続く戦国時代の幕開けとなった。
- (3) 応仁の乱後の1485年、京都南部の村々は、地侍を中心としてまとまりを強めて守護大名の畠山氏を追い出して8年間自治を行った。この事件を山城国一揆という。
- (4) さらに、1488年、加賀の一向宗の信徒が守護を攻め滅ぼし、約 100年間自治を続け、「百姓の持ちたる国」とよばれた。これを加賀の一向一揆という。
- (5) 戦国時代、都市の自治も進み、とくに京都・博多・堺では町衆と呼ばれた有力商人を中心に自治が行われた。
- (6) 下の身分の者が上の身分の者を倒すことを下克上という。戦国時代守護大名の多くが家臣にたおされ、戦国大名がうまれた。戦国大名は領国統治のために分国法という法律を制定した。

[A問題：要点確認]

- (1) 1467年、足利義政が将軍のとき、そのあとつぎ争いと守護大名の細川氏と山名氏の争いなどが原因となって、()の乱がおこった。
- (2) ()年、()が将軍のとき、そのあとつぎ争いと守護大名の細川氏と山名氏の争いなどが原因となって、応仁の乱がおこった。
- (3) 11年間続いた戦乱はやがて全国に波及し、以後約100年間続く()時代の幕開けとなった。
- (4) 応仁の乱後の1485年、京都南部の村々は、地侍を中心としてまとまりを強めて守護大名の畠山氏を追い出して8年間自治を行った。この事件を()一揆という。
- (5) 応仁の乱後の()年、京都南部の村々は、()を中心としてまとまりを強めて守護大名の畠山氏を追い出して8年間自治を行った。この事件を山城国一揆という。
- (6) さらに、1488年、加賀の一向宗の信徒が守護を攻め滅ぼし、約 100年間自治を続け、「百姓の持ちたる国」とよばれた。これを()一揆という。
- (7) さらに、()年、加賀の()宗の信徒が守護を攻め滅ぼし、約 100年間自治を続け、「百姓の持ちたる国」とよばれた。これを加賀の一向一揆という。
- (8) 戦国時代、都市の自治も進み、とくに京都・()・堺では()と呼ばれた有力商人を中心に自治が行われた。
- (9) 戦国時代、都市の()も進み、とくに京都・博多・()では町衆と呼ばれた有力商人を中心に自治が行われた。

- (10) 下の身分の者が上の身分の者を倒すことを()という。戦国時代()大名の多くが家臣にたおされ、戦国大名が生まれた。戦国大名は領国統治のために分国法という法律を制定した。
- (11) 下の身分の者が上の身分の者を倒すことを下克上という。戦国時代、守護大名の多くが家臣にたおされ、()大名が生まれた。()大名は領国統治のために()法という法律を制定した。

[B問題]

- (1) 15世紀後半、細川氏と山名氏の権力争いに將軍や管領家の相続争いが結びついて、11年間も京都での争いが続いた。この争いを何というか。
- (2) 応仁の乱が始まったのは何年か。
- (3) 応仁の乱は細川氏と山名氏の対立が原因でおこった。幕府を動かしていたこれらの大名を何というか。
- (4) 応仁の乱の後、戦乱は全国に広がり、約 100年も続いた。この戦乱の時代を何というか。
- (5) 1485年、京都南部の村々は、地侍を中心としてまとまりを強めて守護大名の畠山氏を追い出して8年間自治を行った。この事件を何というか。
- (6) 15世紀後半、加賀の一向宗の信徒が守護を攻め滅ぼし、約 100年間自治を続け、「百姓の持ちたる国」とよばれた。この事件を何というか。
- (7) 加賀の一向一揆は何年におこったか。
- (8) 加賀で起きた一揆に関係の深い宗派は何か。
- (9) 日明貿易で栄えた港町で商人を中心とした自治が行われた都市はどこか。
- (10) 戦国時代、堺などでは自治が行われたが、その中心となった有力商人を何というか。
- (11) 大名の家来が實力をのばして大名の地位を奪うようになったが、下の身分の者が上の者を倒すことを何というか。
- (12) 實力で領国を支配するようになった大名を何というか。
- (13) 戦国大名が領国統治のために制定した法令を何というか。

[解答] (1) 応仁の乱 (2) 1467年 [参考] 応仁の乱、人よむな(1467)しく死んでいく

- (3) 守護大名 (4) 戦国時代 (5) 山城国一揆 (6) 加賀の一向一揆 (7) 1488年 [参考] 人よッパ(1488)と一向一揆 (8) 浄土真宗(一向宗) (9) 堺 (10) 町衆 (11) 下克上 (12) 戦国大名 (13) 分国法

[C問題]

- (1) 応仁おうにんの乱の原因として有力な守護大名間の対立があったが、何氏と何氏の対立か。
- (2) 戦国時代せんごくじだい，有力商人による自治が行われた都市を3つあげよ。
- (3) 大内氏の城下町として栄え、応仁おうにんの乱後，地方の文化の中心になった都市はどこか。
- (4) 下克上げこくじょうとはどのようなことか。簡単に書け。
- (5) 戦国大名せんごくだいみょうは、城下じょうかに家来を集め，商工業者をよびあつめて()町をつくった。

[解答] (1) 細川氏ほそかわしと山名氏やまなし (2) 堺さかい 京都きょうと 博多はかた (3) 山口やまぐち (4) 身分の低い者が身分の高い者を倒すこと。 (5) 城下(町)

[印刷 / 他の PDF ファイルについて]

このファイルは、FdText 社会(6,200 円)を PDF 形式に変換したサンプルで印刷はできないようになっています。製品版の FdText 社会は Word(または一太郎)の文書ファイルで、印刷・編集を自由に行うことができます。さらに、製品版には、この問題解答一体形式のほかに、問題解答分離形式を収録していますので、購入後、ただちに印刷して使うことができます。

FdText 社会の全 PDF ファイル、他の科目(数学・英語・理科・国語)の各 PDF ファイル、および製品版の購入方法は、<http://www.fdtype.com/txt/index.html> に掲載しております。

下図のような、[FdData 無料閲覧ソフト(RunFdData)]を、お使いになっている Windows にインストールすれば、FdData 中間期末・FdData 入試の全 PDF ファイルを閲覧することができます。この PDF ファイルは、印刷・編集はできませんが、試験前に、画面を見ながら目で問題を解いていただいても一定の学習効果が期待できます。

[FdData 無料閲覧ソフト]ダウンロードのページ：<http://www.fdtype.com/lnk/dwn2.html>

